2027年3月期 第２四半期
決算説明資料



株式会社エスティック

Electric-Servo-Tool-Intelligent-Corporation

ESTIC

JPX STANDARD　証券コード６１６１

https://www.estic.co.jp

目次

- P3-4 連結業績ハイライト
- P5 連結経営成績（P/L）
- P6 連結営業利益分析
- P7 連結財政状態（B/S）
- P8-9 地域別・品種別売上
- P10 連結業績予想（PL）
- P11 連結業績予想（品種別売上）
- P12 株主還元方針｜配当予想
- P13-16 成長戦略

© ESTIC CORPORATION

連結業績ハイライト（主要地域の市場環境）

日本

・省人化・自動化需要が継続する一方、先行き不透明感から設備投資判断には慎重
・EV需要の鈍化や生産・投資計画の見直しを背景に、大型設備投資の延期・抑制が継続

北米

・通商政策等の不透明感が続く一方、製造業の国内回帰や生産体制強化に向けた投資が進展
・EV関連投資は調整局面が続くも、既存車種やデータセンター等の設備投資需要は堅調

中国

・景気回復の力強さを欠く中、通商摩擦や先行き不透明感を背景に設備投資は慎重に推移
・NEV市場では価格競争が激化し、自動車メーカーによる設備投資の選別化や見直しが進行

アジア
欧州等

・アジアでは韓国や東南アジアを中心に、省人化・自動化に向けた設備投資需要が継続
・欧州では既存大口顧客向け需要が堅調に推移し、中南米でもメキシコを中心に販売が伸長

© ESTIC CORPORATION

連結業績ハイライト（売上｜利益）

売上高

38.6億円

前期比：増収 **+10.3%**

北米市場では既存大口顧客向け販売や非自動車分野への展開が進み、欧州・中南米市場でも販売が伸長しました。一方、国内市場では大型装置案件の延期・見直し、中国市場では主要EVメーカー向け販売の減少により、前年同期を下回りました。

製品別売上高は、ハンドナットランナは北米を中心とした海外市場で大幅に増収となった一方、ネジ締付装置やナットランナは国内・中国市場などの設備投資の慎重化を背景に減収となりました。

営業利益

9.6億円

前期比：増益 **+65.7%**

ハンドナットランナの大幅増収に加え、比較的利益率の低いネジ締付装置の減収に伴う製品ミックスの改善や、米国関税還付金の計上などが寄与し、営業利益は前年同期比65.7%増となりました。

売上高営業利益率は前年同期の16.5%から24.8%へ改善しました。

© ESTIC CORPORATION

連結経営成績（PL）

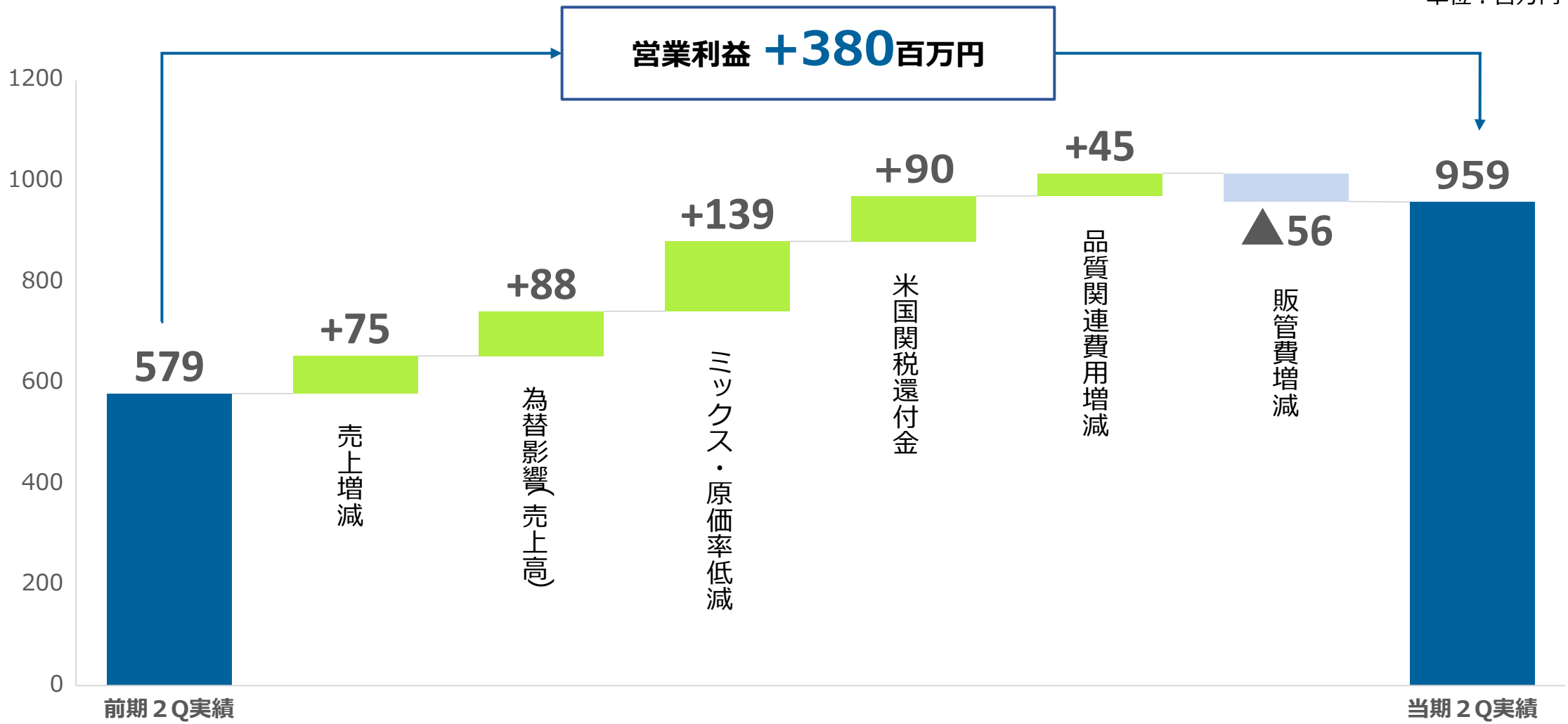
単位：百万円／%	2026年3月期 第2四半期		2027年3月期 第2四半期		前期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	3,504	100.0%	3,864	100.0%	+360	+10.3%
売上原価	1,912	54.6%	1,836	47.5%	▲76	▲4.0%
売上総利益	1,591	45.4%	2,027	52.5%	+436	+27.4%
販売費及び一般管理費	1,011	28.9%	1,067	27.6%	+56	+5.5%
営業利益	579	16.5%	959	24.8%	+380	+65.7%
経常利益	596	17.0%	1,000	25.9%	+404	+67.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	400	11.4%	689	17.8%	+289	+72.2%
一株当たり当期純利益（円）	40.20		69.14			

参考データ

PBR	0.97倍	**0.88倍**
為替レート(CR)（対米国ドル/円）	2026年3月期2Q　148.05円 (9.20時点)	**2027年3月期2Q　156.35円 (9.20時点)**

連結営業利益分析

単位：百万円



連結財政状態（BS）

単位：百万円	2026年3月20日	2026年9月20日	増減		
流動資産合計	8,306	**8,365**	+59	現預金 売掛債権 在庫	+846 ▲915 +44
有形固定資産合計	3,435	**3,938**	+503	建設仮勘定	+516
無形固定資産合計	25	**21**	▲4		
その他投資資産合計	993	**1,023**	+30	投資有価証券	+53
総資産合計	12,761	**13,347**	+586		
流動負債合計	942	**1,003**	+61	未払法人税	+85
長期負債合計	315	**298**	▲17	長期未払金	▲36
負債合計	1,257	**1,302**	+45		
株主資本合計	10,807	**11,213**	+406	利益剰余金	+400
純資産合計	11,503	**12,045**	+542		
負債・純資産合計	12,761	**13,347**	+586		

© ESTIC CORPORATION

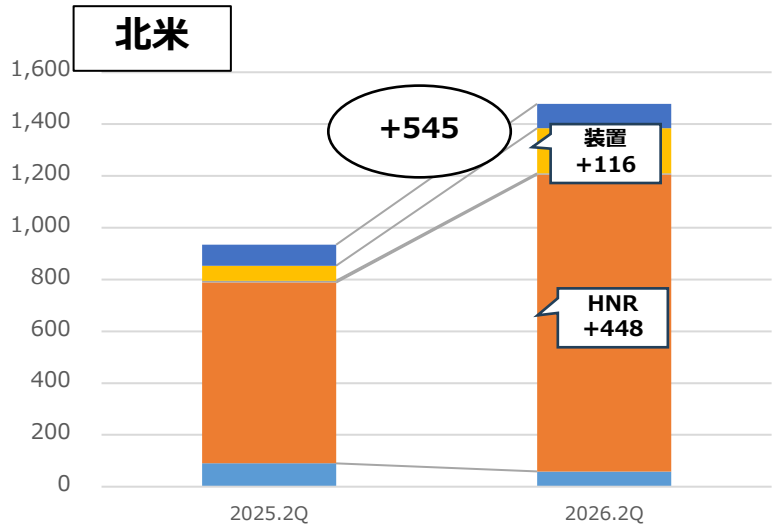
地域別品種別売上｜前年同期比

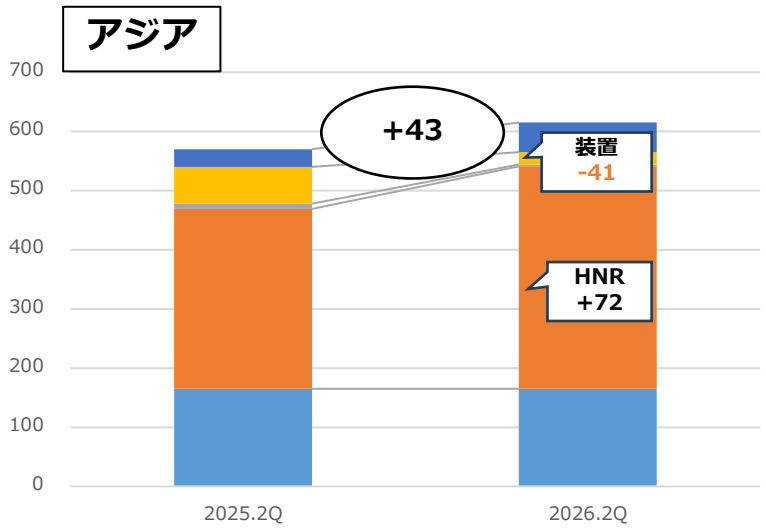
単位：百万円	2027年3月期 第2四半期						前年同期比増減					
品種 / 地域	ﾅｯﾄﾗﾝﾅ	ﾊﾝﾄﾞﾅｯﾄﾗﾝﾅ	ｻｰﾎﾞﾌﾟﾚｽ	ﾈｼﾞ締付装置	修理点検	計	ﾅｯﾄﾗﾝﾅ	ﾊﾝﾄﾞﾅｯﾄﾗﾝﾅ	ｻｰﾎﾞﾌﾟﾚｽ	ﾈｼﾞ締付装置	修理点検	計
日本	194	468	15	213	153	1,043	▲26	+45	▲4	▲230	+15	▲200
北米	59	1,146	5	174	94	1,478	▲31	+448	▲2	+116	+13	+545
中国	115	219	8	5	3	349	▲29	▲169	+8	▲81	▲1	▲273
アジア（中国除く）	165	376	3	21	50	614	+0	+72	▲6	▲41	+20	+43
中南米	13	68	0	29	9	118	+6	+24	▲1	+28	+5	+61
その他の地域	14	241	0	0	8	262	+6	+177	0	0	+2	+183
合計	559	2,517	31	441	316	3,865	▲76	+596	▲5	▲208	+53	+361

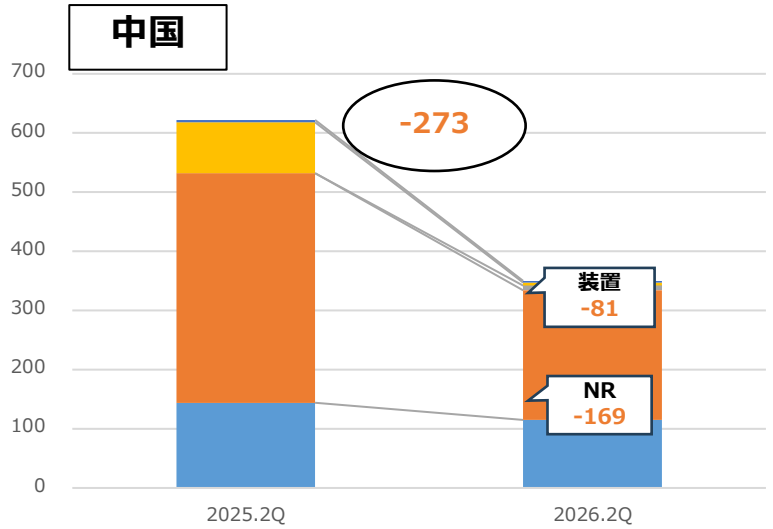
© ESTIC CORPORATION

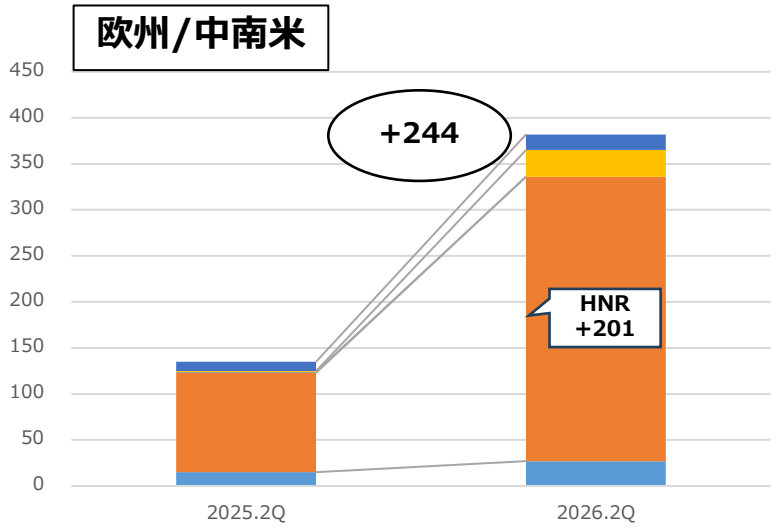
地域別品種別売上高（主要地域）｜前年同期比

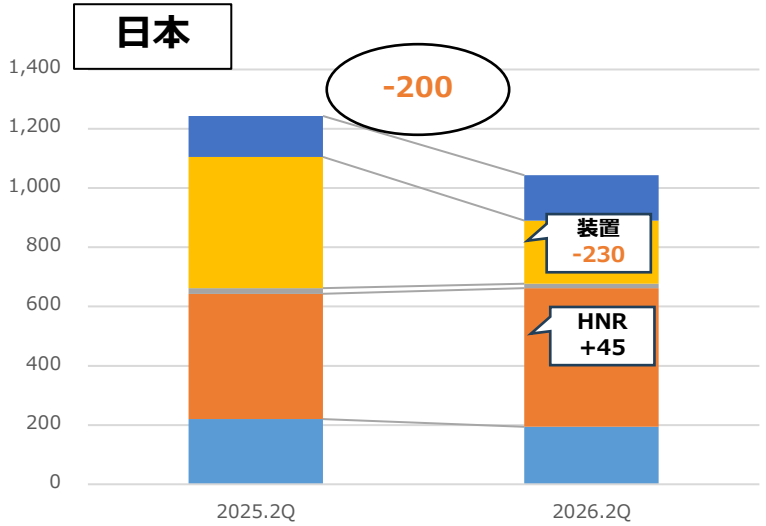
単位：百万円











＜ 前年比プラス ＞

北米, アジア, 欧州/中南米

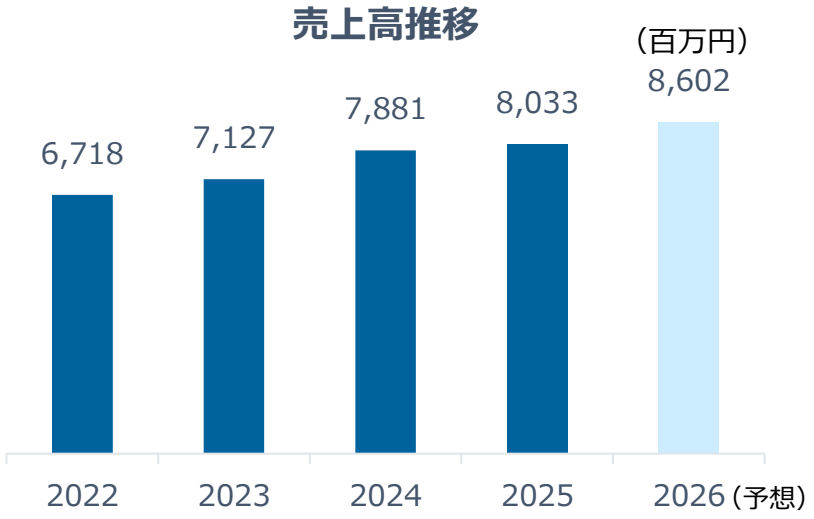
＜ 前年比マイナス ＞

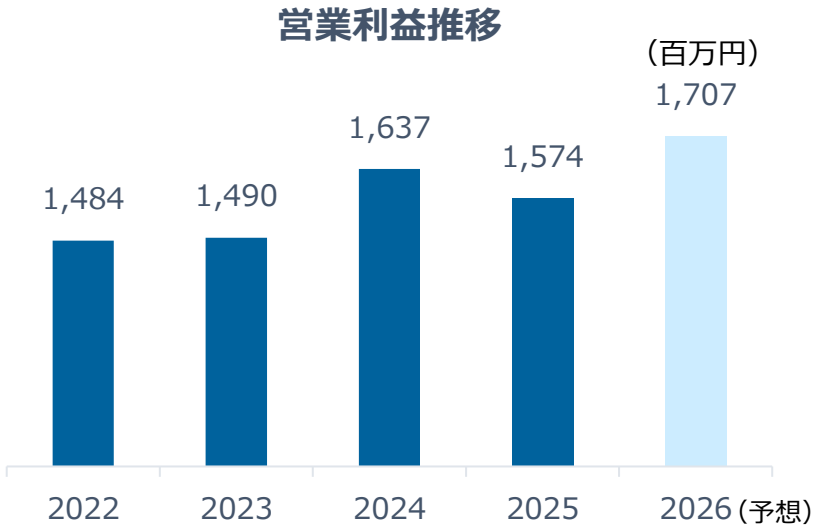
中国, 日本

© ESTIC CORPORATION

連結業績予想（通期PL予想）

単位：百万円	2026年3月期		2027年3月期(予想)		増減	増減率
売上高	8,033	100%	8,602	100%	+569	+7.1%
売上原価	4,445	55.3%	4,532	52.7%	+87	+1.9%
売上総利益	3,588	44.7%	4,070	47.3%	+482	+13.4%
販管費	2,013	25.1%	2,362	27.5%	+349	+17.3%
営業利益	1,574	19.6%	1,707	19.9%	+133	+8.4%
経常利益	1,659	20.7%	1,742	20.3%	+83	+5.0%
当期純利益	1,163	14.5%	1,219	14.2%	+56	+4.8%





© ESTIC CORPORATION

連結業績予想（品種別売上高予想）

単位：百万円	2026年3月期		2027年3月期(予想)		増減	増減率
ハンドナットランナ	4,440	55.3%	5,518	64.2%	+1,078	+24.2%
ナットランナ	1,206	15.0%	1,116	13.0%	▲90	▲7.4%
ネジ締付装置	1,721	21.4%	1,248	14.5%	▲473	▲27.4%
サーボプレス	88	1.1%	150	1.7%	+62	+70.4%
修理点検	576	7.2%	566	6.6%	▲10	+1.7%
合計	8,033	100%	8,602	100%	+569	+7.0%

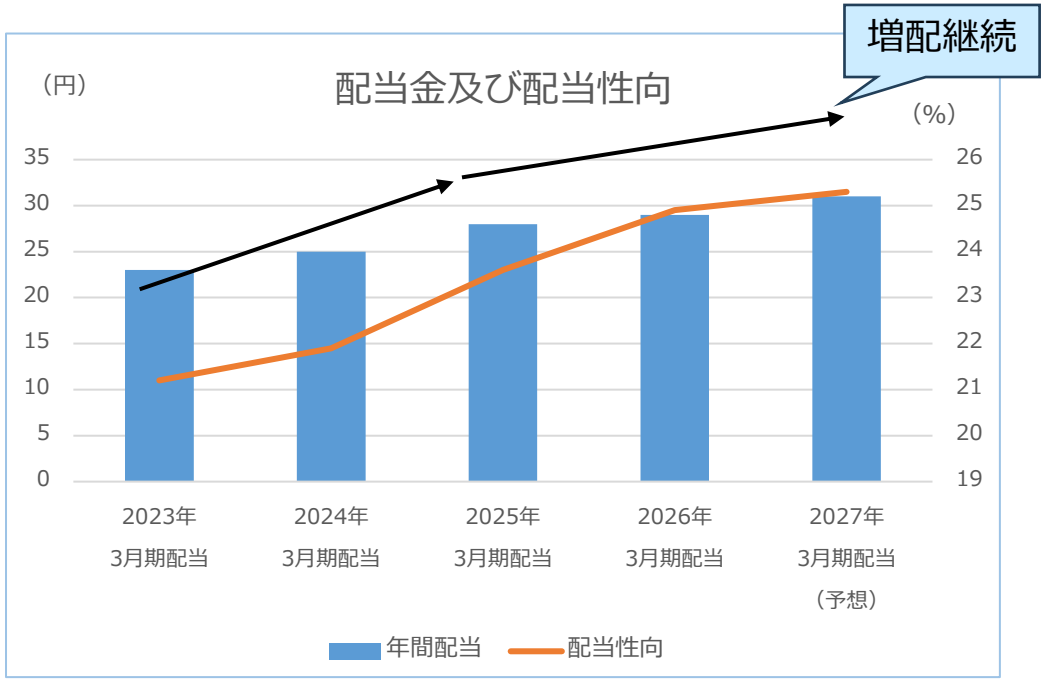
© ESTIC CORPORATION

株主還元｜配当予想

配当方針

財務体質の強化・充実を図り、将来の事業展開に必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続していくことを基本方針としております

	2026年3月期	2027年3月期（予想）
年間配当金	29円	31円
配当性向	24.8 %	25.3 %



成長戦略｜①自動車と非自動車の二軸戦略



自動車市場の環境変化分析

- 中国自動車ブランドのグローバル進出加速
- 原油供給不安によりBEVニーズの追い風が継続
- 各地で競争激化により日系ブランドのシェア低下

中国ブランドは国内需要の飽和を機に
欧州・アジア等の国外へ販路を拡大

当社事業の継続成長には
日系自動車メーカーに偏らない攻略が必須

欧米系ブランド	中国ブランド	その他各国ローカルブランド



非自動車の主要セグメント定義

- トラック・バス
- 建機・農機
- その他の輸送用機器（二輪・航空宇宙・船舶・鉄道など）
- ロボット・その他産業用機器
- 蓄電池・空調（AIデータセンター需要）
- ポンプ・バルブ・その他配管系機器（半導体需要）

自動車市場におけるユーザーニーズを
手本に開拓と攻略を推進

1	重要保安部位	2	角度締結部位
3	多軸設備	4	不具合対策
5	トレーサビリティ	6	手作業工程の自動化

© ESTIC CORPORATION

ESTIC KOREA Co., Ltd. (EKC) 設立

「海外を成長ドライバーとする企業」としての布石

ESTIC KOREA Co., Ltd. 概要

略称	EKC
所在地	韓国ソウル市金川区加山洞
資本金	₩ 300,000,000
設立時期	2026年11月予定
事業年度	1月1日～12月31日
営業開始	2027年1月初頭予定



エンドユーザーとの
接点を増やし関係を構築



一貫した営業・サービス
提供のための基盤構築



案件情報の早期入手と
代理店のコントロール

韓国市場の可能性

自動車

- 自動車生産台数　世界第6位（410万台/2025年）
- 日系自動車ブランドの生産拠点が存在しない
- グローバルナットランナ競合が市場を占有

その他

- 電機･電子機器、半導体製造、造船など、非自動車産業においてもグローバルブランドが存在し、市場の広がりが見込まれる

**現地に拠点を設けることで競争力を強化し、
欧米系および韓国自動車ブランドの開拓を推進**

過去実績	2024/3期	2025/3期	2026/3期
韓国売上高	約4.1億円	約2.9億円	約3.1億円

© ESTIC CORPORATION

AIデータセンター需要に絡む新たなニーズを発掘

熱マネジメントシステム



生成AI需要から高度なデータ処理を支えるためにCPU・GPUの性能が向上することで、サーバ・ネットワーク機器の発熱量が大幅に増加。空調機器および冷却システムの需要が高まっている。

バックアップ電源



止まらないサーバを支える電力供給においては、定置電源 (ESS) 、無停電電源装置 (UPS) 、分散型電源 (BBU) など複層的に構成されており、各機器ともに需要が高まっている。

ねじ締結精度が求められるナットランナニーズを発掘

冷却ファン用モーター、コンプレッサー、
送液ポンプ、冷却用配管、熱交換器、
バッテリーユニットなど

自動車向け製品での実績や繋がりを活かして開拓を推進

© ESTIC CORPORATION

成長戦略｜④全社横断プロジェクト

業務改善 REP2025 プロジェクト

Reengineering **E**STIC **P**rocesses

社内の業務プロセスや情報システムなどの
抜本的な見直し、再設計、再構築

仕組み
環　境
手　法
＋
デジタル
ツール
(DX・IT)
→
生産性向上

外部専門家の知見を活用し、業務の可視化・課題分析を行うとともに、最適な業務プロセスの設計・構築を推進

1. **REP2025**
   業務プロセス見直し・再設計
2. **基幹システム見直し**
   生産・販売の管理システムの刷新
   ※2028年度稼働予定
3. **情報の見える化**
   販売・生産・原価・在庫・品質のデータ一元化
4. **経営効果**
   収益力、生産性、資産効率を継続的に向上

REP2025を起点に、基幹システム刷新、情報の見える化、継続的な業務改善を一体で進め、経営効果を創出する。

© ESTIC CORPORATION

【本資料における注意事項等】

本資料には株式会社エスティックの業績、計画、戦略などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。
これらの将来的予測に関する記述および資料は、発表時点で入手可能な情報に基づき弊社が判断した予測です。
また経済動向、他社との競合状況などの潜在的リスクや不確実な要因も含まれております。
その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

【本資料及び当社ＩＲに関するお問い合わせ先】

株式会社エスティック　管理部
TEL 06-6993-8080
URL https://www.estic.co.jp